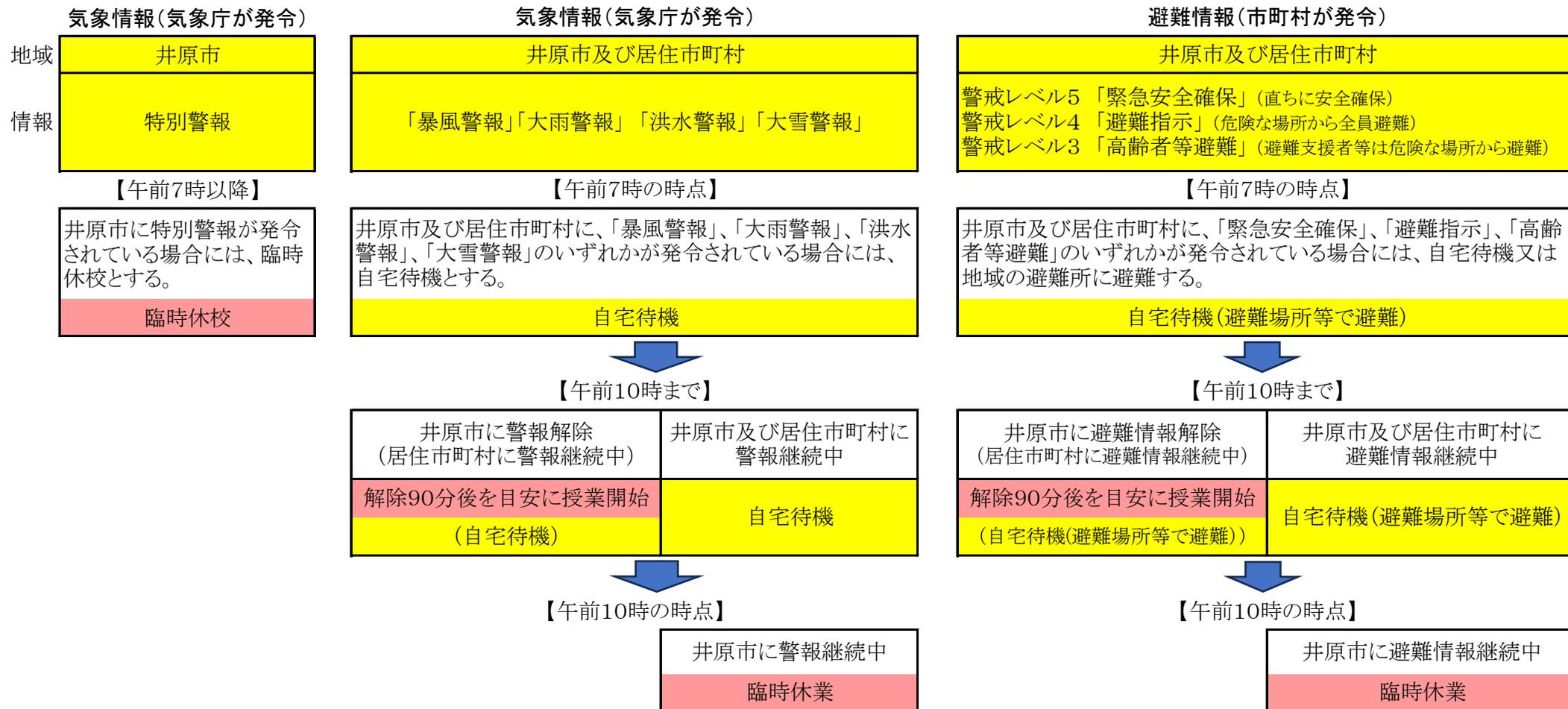


岡山県立井原高等学校 警報等発令時の対応



【注意】

- ・安全を最優先に考えた行動をとる。
- ・登校中で、上記の警報等の発令を知った場合は、各自状況を判断して、「登校する・帰宅する・避難する」のいずれか安全な方法をとる。
- ・その他、警報等発令の有無にかかわらず、強風、大雨、水害、雪害、公共交通機関の運休、遅れ等のため登校が困難な場合は学校に電話連絡し、許可を受けて自宅待機する。その場合は公欠扱いとする。
- ・非常変災により、緊急に当日の始業時刻を変更もしくは臨時休業する場合は、関係教員で協議決定し、メール等で生徒(保護者)に連絡する。

【定期考査時の対応】

- ・午前7時の時点で、井原市に上記の警報等が発令されている場合は、臨時休校とする。考査の日が臨時休校となった場合は、原則としてその日に実施予定だった考査を考査最終日の翌授業日に実施する。
- ・午前7時の時点で、井原市に上記の警報等が発令されていなければ、定期考査を実施する。なお、居住市町村での警報等の有無に関わらず、公共交通機関の運休等で登校が困難な場合は、学校まで電話連絡し、許可を受けて公欠扱いとする。

弾道ミサイルが飛来した場合等の登校に関する注意

1 弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合

本県への影響の有無に関わらず、安全が確認されるまで臨時休業とする。
なお、安全の確認については県教育委員会で行われ、学校に伝達される。
その後の授業再開等の連絡は、本校ホームページ等で行う。また、既に登校している生徒については学校に待機させて、県教育委員会からの連絡を待って対応する。

【避難行動】

○ミサイルが着弾した場合の行動例

- ・近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

2 本県においてJアラートが作動した場合（上記1の場合を除く）

登校前の場合は自宅待機とし、登下校中または学校等で活動している場合は、下記の【避難行動】を参照に行動をとり、Jアラートを通じて「日本の領土・領海の上空を通過した」または「日本の領海外の海域に落下した」旨の情報が伝達されるまで自宅待機や避難行動を継続させる。

【避難行動】 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾する。

○屋外にいる場合の行動例

- ・近くの建物（できるだけ頑丈な建物が望ましい）の中や、地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

○屋内にいる場合の行動例

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

○自動車の車内にいる場合の行動例

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。高速道路を通行しているときなど、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に留め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機する。

○万が一、落下物らしき物を発見した場合には、決して近寄らず、警察・消防に連絡すること。